TRAFFIC ADVICE ［浜松地区若者運転者交通安全研修会］

★交通安全活動をサポートする

20代、30代の運転者に、交通安全を自分自身の問題として考えてもらうために

研修に先立ち行われた開講式で挨拶を行う河西室長

3月15日、浜松市交通事故防止対策会議（会長：北脇保之・浜松市長）が主催する「浜松地区若者運転者交通安全研修会」が、交通教育センターレインボー浜名湖で行われた。浜松地区の事業所に勤務する20代、30代の若者を対象に、浜松中央地区、浜松東地区、浜北地区の3つの安全運転管理協会を通じて参加者を募集。今年3回目となるこの日は、17事業所から38人が参加した。

浜松市交通事故防止対策会議の事務局を担当している浜松市都市計画部交通政策課交通安全対策室の河西勉室長によると、平成17年中に浜松市内で発生した人身事故9855件を、事故を起こした人の年齢層別でみると、20歳代が26・0％（2564件）、30歳代が19・9％（1961件）と若者の割合が高くなっており、その原因は、運転者の注意不足や操作ミスが多いという。

「こうしたことから、若者を対象に、受講者が自らの運転に対する意識を自覚し、普段の運転をより安全にしてもらうことを目的にした研修会を定期的に開催しています」。（河西室長）

受講者38名はトレーニング車両に乗車し、午後1時からの約3時間、『運転姿勢とハンドリング』『反応ブレーキ体験』『低μ（ミュー）路体験』に取り組んだ。

『反応ブレーキ体験』では、受講者一人ひとりが50km/hからブレーキをかけて停止した時の反応時間と停止距離を計測した

『運転姿勢とハンドリング』では、インストラクターが正しい運転姿勢のポイントについて説明。受講者は各自運転姿勢を確認し、さまざまなカーブを組み合わせたコースを走行し、スムーズなハンドル操作をトレーニングする。

『反応ブレーキ体験』は、受講者に50㎞／hで直線コースを進行してもらい、正面1ヵ所、左右それぞれ3ヵ所の信号のいずれか1つが点灯したら、ブレーキをかけて停止し、その時の反応時間と停止距離を計測するというもの。

計測終了後、受講者に、信号が点灯した時に自分がいたと思われる場所に立ってもらう。信号から遠い人もいれば、近い人もいる。「ある地点を通過すると、自動的に信号が点灯する仕組みになっているので、点灯のタイミングはみなさん同じです。気づいた位置にバラツキがあるということは、信号が点灯していても意識がそこにいっていないと、見えていないということになります。つまり、走行中に目の前に何かが飛び出してきても、それを認識していなければ対応が遅れてしまうのです。これを機会に、安全確認の方法や車間距離などが今のままでいいのか、自分の運転を見直してみてください」とインストラクターがアドバイスした。

『低μ（ミュー）路体験』では、ABS（アンチロック・ブレーキ・システム）を装着したトレーニング車両ですべりやすい路面を走行し、障害物を回避するというもの。急ブレーキをかけた状態でも、ハンドル操作ができることを受講者は体験した。

「このような参加体験型の研修会を通じて、一人でも多くの若い方に、交通安全を自分自身の問題として考えてもらいたい」と河西室長は話す。

『低μ（ミュー）路体験』ではABSが装着されているクルマは、すべりやすい路面で急ブレーキをかけてもハンドルが操作できることを体験した

研修会の最後には、エアバッグの展開を体験した

正しい運転姿勢についてインストラクターがアドバイス

交通安全活動を広げる SAFETY REPO

●（株）ホンダ・エクスプレス「第1回ドライバーズ＆フォークリフトマンコンテスト」

物流を支える現場の技を追求し、安全意識の向上をめざす

ドライバーズ部門製品輸送領域の選手は商品である「車」を慎重に取り扱い、トレーラーへの積込卸作業を進めた

ホンダ製品の輸送などを担う（株）ホンダ・エクスプレスが2月18日、鈴鹿サーキット交通教育センターで、「第1回ドライバーズ＆フォークリフトマンコンテスト」を開催した。コンテストを企画した背景を、服部富夫・安全・輸送・品質保証部部長は次のように語る。

「当社ではトレーラーやトラックで製品輸送などを担当する乗務員や、フォークリフトで作業を行う従業員がいます。各領域で業務に取り組んでいるみなさんが、それぞれの技を競い合える場を作ろうと考え、開催を決めました。コンテストへの参加が励みとなり、従業員のモチベーション、そして安全意識の向上につながることを期待しています」。

コンテストには同社の各事業所から選ばれた26名が参加。競技はドライバーズ部門とフォークリフトマン部門に分かれて行われる。ドライバーズ部門はさらに業務領域ごとに分かれ、トレーラー、トラック、バスを使用して行われた。

午前10時30分より競技が開始。ドライバーズ部門製品輸送領域の選手はトレーラーへの積込卸作業などに取り組んだ。この競技はホンダ・シビック2台をトレーラーに積み込み、その後、荷卸を行うというもの。作業時間ではなく、基本に基づいた作業ができているか、指差呼称の実施など安全確認の遵守が徹底されているかが審査のポイントとなっている。また、トレーラーのスムーズかつ正確な運転技術を審査する競技も行われた。

フォークリフトマン部門の選手も、積込卸作業を行った。所定の位置にある荷物をフォークリフトで、トラックまで運び、荷台に載せ、一旦後退してから、再びその荷物を元の位置に戻すという課題だ。ここでも、作業手順、動作・姿勢の的確性、作業途上の安全確認の遵守が評価される。

すべての競技が終了し、午後2時20分から行われた表彰・閉会式では、渡井良三・取締役社長が「このコンテストを、安全を第一に質の高い仕事を競い合う場に発展させていきたい」と抱負を述べ、コンテストを締めくくった。

「今回は安全確認の遵守など、作業の安全面や品質面を重視しました。次回以降は競技の難易度を上げ、作業のスピードなども評価の対象とし、より高度な技を極めていけるようにしたい。また、当社のグループ会社や協力会社にも参加していただこうと考えています」と、服部部長は今後の展望を話した。

フォークリフトを巧みに操り、積込卸作業を行うフォークリフトマン部門の選手

トレーラーの運転技術を審査する競技では、後退してリヤバンパーを後方のパイロンに2m以内まで近づけて停止するという課題などがあった

活動短信 ●交通教育センター　3月

アクティブセーフティトレーニングパークもてぎ
TEL 0285(64)0100
●企業／［四輪］＝関東電気保安協会、セーフティコーディネーター、ピーエスジー、ショーワ、ホンダアクセス、オートテクニックジャパン、本田技術研究所栃木研究所、本田技研工業
●官庁／［四輪］＝長野地方検察庁、さいたま地方検察庁、宇都宮地方検察庁
●一般／［二輪］＝HMS初級・中級のコース、トレッキングファースト・セカンドの各ステージ、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンド・サードの各ステージ
［四輪］＝HDS初中級・中級・上級の各コース

交通教育センターレインボー和光
TEL 048(461)1101
●企業／［四輪］＝四輪安全運転路上診断、四輪安全運転研修、セーフティコーディネーター
●一般／［四輪］＝高齢者講習

交通教育センターレインボー埼玉
TEL 049(297)4111
●企業／［二輪］＝ダンロップモーターサイクルコーポレーション、セコム、東京本部・神奈川本部、本田技術研究所朝霞研究所、本田技研工業埼玉製作所
［二輪］＝ヒガ・インダストリーズ、本田技術研究所朝霞研究所
［四輪］＝セコム東京本部・神奈川本部、エーザイ、東京ガス、関東電気保安協会職員本部、キリンビバレッジ、生活クラブ生協、コープネット、日本郵便逓送、東京電力多摩支店、イワヴチ、ユニマットオフィスコ、シンジエンタジャパン、ネッツトヨタ東埼玉、日立ビルシステム、視察体験会、チーフセーフティコーディネーター、セーフティコーディネーター、ホンダ開発、本田技研工業埼玉製作所
［講話］＝ホンダエンジアリング、ホンダモーターサイクルジャパン
●官庁／［四輪］＝神奈川県安全防災局、川越市消防団、寄居町役場
●学校／［自転車］＝出丸小学校
●一般／［二輪］＝HMS初級・中級・上級、バランスファースト・バランススペシャル・入門・タンデムの各コース、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンド・サードの各ステージ
［四輪］＝HDS初級ファースト・セカンドの各ステップ

交通教育センターレインボー浜松
TEL 053(437)5551
●一般／［二輪］＝高齢者講習、取得時講習、初心者講習、HMS初級・初中級・サンセット・二輪免許体験の各コース
［四輪］＝高齢者講習、高齢トライバースクール

交通教育センターレインボー浜名湖
TEL 053(527)11331
●企業／［四輪］＝セコム、中部電力静岡支店、ソミック石川、視察体験会、本田技研工業浜松製作所
［電動カート］＝本田技研工業日本営業本部モンパル研修
●官公庁／［四輪］＝浜松地区若者運転者交通安全研修会、細江警察署主催高齢者講習、島田市役所、横浜地方検察庁
●一般／［二輪］＝HMS初中級・中上級、バランス・レディース・タンデム・プライベートレッスン・トライアル入門・オフロード入門の各コース、ベスト会HMS親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンドの各ステージ、高齢者講習
［四輪］＝高齢者講習

鈴鹿サーキット交通教育センター
TEL 0593(78)0387
●企業／［二輪］＝ヒガ インダストリーズ、朝日奨学会
［四輪］＝伸和、中部電力、オールホンダ、タイホンダ、本田技研工業鈴鹿製作所
●官公庁／［四輪］＝徳島地方検察庁、大阪地方検察庁、神戸地方検察庁、鈴鹿警察署、三重県社会福祉協議会ケアドライバー
●学校／［四輪］＝豊田工業高等専門学校
●一般／［二輪］＝HMS初級・中級・オフロード入門・トライアル入門の各コース、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンド・サードの各ステージ、TEAM MARI-モーターサイクルレッスン
［四輪］＝HDSファースト・セカンド・サードの各コース

交通教育センターレインボー福岡
TEL 092(963)1421
●企業／［二輪］＝西日本新聞奨学会
［四輪］＝NTTドコモ九州、エフコープ生活協同組合、昭和ネオス、セーフティコーディネーター、ホンダモーターサイクルジャパン
●学校／［二輪］＝古賀高等学校
●一般／［二輪］＝HMSサンセットコース
［四輪］＝HDSオーダーメイドコース

交通教育センターレインボー熊本
TEL 096(293)1370
●企業／［二輪］＝ライディングアドバイザー、ライディングトレーナー養成研修会
［四輪］＝セコム九州、ニッポンレンタカー九州、東京エレクトロンFE、日本郵便逓送、南九州ペプシコーラ販売、チーフセーフティコーディネーター、セーフティコーディネーター、本田技研工業熊本製作所
［ATV］＝ATV（初級）訓練及びC級ライセンス検定
［電動カート］＝モンパルインストラクター研修会
●官公庁／［二輪］＝大津郵便局
［四輪］＝大分地方検察庁、佐賀地方検察庁、島原振興局、五木村役場、八代地区安全運転管理者協議会
●一般／［二輪］＝HMS初級・中級・上級・オフロード入門の各コース、親子でバイクを楽しむ会ファースト・セカンド・サードの各ステージ
［四輪］＝HDS初級・中級の各コース
［交通安全教室］＝本田技研工業熊本製作所親子交通安全教室